



🏠 これまでの「行方帰省メシ」

＼ 帰省メシ特別編で紹介 /

小池公子さんの帰省メシ



肉巻きと卵焼き

お子さんが帰省したら、一緒にやりたいことはありますか？

夏は、霞ヶ浦ふれあいランドのざぶざぶ溪流で孫たちと水遊びを楽しみたいです。「どうぶつとみんなのいえ」にも一緒に行ってみたいです。

お子さんたちに今人気の「帰省メシ」は何ですか？

私を思っか、簡単にできるもの！と言われます。みそ汁はニラの卵とじ、サラダは、アボカドなどの材料をさいの目に切ったカプレーゼをよく作ります。

＼ 帰省メシ社会人編で紹介 /

小貫莉奈さんの帰省メシ



具だくさんの豚汁

今年の帰省の予定はありますか？

今年の予定はまだないですが、まとまった休みができれば、帰省して実家の愛犬と遊びたいです！

今、食べたい帰省メシは何ですか？

以前答えた、サツマイモが入った豚汁が食べたいです！母が作った豚汁は、食べると心もホッとするので、帰省したら食べたいです！

＼ 帰省メシ学生編で紹介 /

谷川勇氣さんの帰省メシ



母のカレー

行方市に帰ってきて良かったと思ったことは何ですか？

ゴルフ場が多く、家から数分で行けることです。東京で就職していたら、今ほど頻繁に行けていないと思います。

今、一番好きな料理は何ですか？

以前答えた時と変わらず、母のカレーです。また、最近では花椒（ホワジャオ）を効かせた麻婆茄子（マーボーナス）も同じくらい好きです。

あなたの「帰省メシ」を 教えていただけませんか？

「帰省メシ」とは、帰省したときのご飯のこと。船が港に戻り休息を取りながら燃料を補給するように、さまざまな人が食材豊かな行方市に帰省して英気を養い、ふたたび学業や仕事などの地へと戻っていく。そのおひとりおひとりの様子をお伝えすることが、行方市の皆さまのさらなる活気につながってほしい。そんな願いを込めて「行方帰省メシ」のホームページを作りました。ぜひ、あなたの「帰省メシ」を教えてください。 —小林光恵—



帰省メシ監修

なめがた大使

小林光恵さん

1960年生まれ 行方市出身。看護師・著述家。「おたんこナース」、「ナースマン」など著書多数。今年5月に6年ぶりの新刊小説「ナイチンゲール7世」を発売。市報行方で「五感でキャッチ！なめがた漫遊記」を連載中。

「行方帰省メシ」応募フロー



応募

「行方帰省メシ」ホームページから、アンケートフォームに入り、必要事項を入力して応募します。あなたの楽しみにしている帰省メシ、帰省メシに関するエピソード、帰省の際に持って帰るお土産など、皆さんの帰省に関するお話をお待ちしています。



取材

応募内容の確認後、取材対象となった方に取材依頼のメールを送信します。応募いただいた内容について詳しく聞かせていただき、掲載する原稿の作成をします。作成した原稿は、掲載前に随時ご確認のご依頼をさせていただきます。
※通常、メールでのやり取りにて取材します。



掲載

「行方帰省メシ」ホームページへ掲載します。ご協力ありがとうございました。



▲これまでの「行方帰省メシ」はこちらから
「行方帰省メシ」に関するお問い合わせ
政策秘書課シティプロモーション室（麻生庁舎） ☎ 0299-72-0811 FAX 0299-72-2174

行方帰省メシ
応募フォーム



▲「行方帰省メシ」の応募はこちらから

「行方帰省メシ」取材レポート

小林光恵さん×菊地章雄さんの打ち合わせの様子を取材。「行方帰省メシ」ができるまでの一部をご紹介します。

帰省メシの進め方

小林 菊地さん、本日は「行方帰省メシ」取材前の事前打ち合わせ、よろしくお願ひいたします。早速ですが、菊地さんは、今までに掲載した「行方帰省メシ」をご

覧になったことはありますか？

菊地 はい、拝見しています。

小林 ありがとうございます。たくさんの方に協力いただいて作られている「行方帰省メシ」ですが、なかなか「出ていいよ。」と言っていただけの方が少ない状況でもあります。なので今後は、テーマを広げながら、たくさんの方に「行方帰省メシ」を見ていただきたいと思います。菊地さんは、行方市に移住された

方ということで、菊地さんならではの新しいテーマで、帰省メシについてお伺いしていきたいです。

菊地 承知しました。

小林 菊地さんは、行方市に移住してから何年目になりますか？

菊地 移住して5年目になります。

小林 5年目になるんですね。それでは、今回の「行方帰省メシ」は、菊地さんが行方市に住まわれてから気づいた、行方の食材の魅力などから、料理をご提案いただくのでもいいかもしれません。自分のお子さんが大きくなって家を出たとして、

帰省した時に、食べさせてあげたいもの。そんなテーマから、いくつか「行方帰省メシ」となる料理をご提案いただきたいです。

菊地 なるほど、分かりました。

小林 これからの取材の流れとしては、メールでインタビューシートをお送りします。ですので、ご回答いただきたいです。私から質問がありましたら、それに返すようにお聞きしますので、またそれにご返信いただくと、やり取りさせていただきますながら、原稿にします。インタビューの回答については、どれくらいお時間がかかりそうですか？

菊地 インタビューシートをいただいてから、3日間ぐらいで書けるかと思ひます。

小林 早いですね！

菊地 ありがとうございます。すでに退職していますが、前職では、科学の記事を書いていた経験があります。しかし、「行方帰省メシ」として書くうえでは、分かりにくい文章になってしまわないか心配です。

小林 そうだったんですね。「行方帰省メシ」の記事は、会話をしているように、口語体で書くように思いますので、きっと分かりやすくなりますよ。



どんな帰省メシにするか？

菊地 行方市内にもよく通わせていただ

いている飲食店がいくつかあります。宿泊に来たお客さんにも紹介しています。将来、息子がお酒を飲める年齢になったら、一緒に行きたいと思っています。こういったエピソードについて、「行方帰省メシ」に書くことは可能ですか？

小林 もちろんです。「行方帰省メシ」に関するエピソードであげていただいたお店については、お店の許可をいただだけ

したら、記事の中で紹介するようにしています。ご提案をいただければ確認しますので、どんどんおっしゃってくださいね。

菊地 ありがとうございます。あとは、料理ですね…。こういったものがよく紹介されている、など、おすめはありますか？

小林 今までに取材してきた方の中だと、「けんちん」をあげる方が多いですね。家によって作り方が違ったりするので、その家のストーリーが浮かびやすいのかも知れません。あとは、ご近所さんから野菜を大量にもらったときに、その野菜を

どう料理するか、どうアレンジするか、というのでもいいかもしれません。市民の方は定番と言っているような悩みでしうから（笑）

菊地 そういったテーマで考えても、面白いかもしれませんね。私なりのテーマの「行方帰省メシ」が書けるよう、頑張ります。

取材を終えて

今回は、「行方帰省メシ」の事前打ち合わせの様子について取材させていただきました



した。お二人のお話を聞いて、これから菊地さんの「行方帰省メシ」がどのように完成していくのか、待ち遠しいです。皆さんの帰省メシは何か？帰省する方、帰省する家族がいる方は、帰省メシが「ただいま」「おかえり」のかわりになるといいですね。菊地章雄さんの「行方帰省メシ」記事は、今後市公式ホームページ内で公開する予定です。公開をお待ちください。



▲菊地章雄さん 岡崎市出身。
行方市シティプロモーション・タスクフォース委員を務める。行方市内で5年前から夫婦で民泊を経営。

蔵に泊まれる小さなリゾート
reZOU ホームページ▶



市公式ホームページ
「行方帰省メシ」▶



なめかた
行方帰省メシ